

# 第65回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

## 朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	審査員講評	安田先生講評
1	四天	伊部	347	<p>作品→→感情あまり入れない方が良い。もう少しすっきりとさせセリフとメリハリを。会話文と地の文の違いが少ない。聞こえる音と聞こえない音の差がある。発音が甘いのが気になる。地の文とセリフの区別はついてた。言葉がクリアではなく、波打つような読み方が気になって内容が入ってこなかった。鼻にかかった発声になっていた。もっと自然な発声をしよう。長いフレーズにうねりがあります。「リボンが会いに来てくれたのよ」の区切り方がおかしい。作者名は色をつけずに素直に。「私」が濁っている。発音が不明瞭。ささやき、吐息で読んでいる。「内緒話」を立てる必要はありません。ナンバーコール、もっとしっかり。マイク吹いていました。</p> <p>課題文→→人物の読み分けが不明瞭。長嶋監督は、そんなに弱弱しくないと。セリフはそれでいいですか？</p>	<p>母音の発音が子供っぽくなっていて、内容に集中できません。すみれのせりふが、地の文よりもさらに幼く聞こえます。</p> <p>「すぐそこに…」のあたり、色っぽくなりました。</p> <p>朗読だけでなく、ニュースやお知らせなども読んで、放送部アナウンサーとしての伝達力を身に付けてください。</p> <p>発音が不鮮明な箇所もたくさんありました。</p> <p>課題。「さみしくなります」は、誰が言ったの？息がマイクにかかってしまいました。</p>
2	OSM	岸本	362	<p>作品→→ひと続きの情景描写を一気に読むというところも必要。大事な言葉を立てましょう。雰囲気伝わりました。文末、不安定です。区切りすぎ。もっと意味を考え、セリフの自然な行きで。落ち着いたテンポ。うねり、シャクリがあります。意味の塊で音の高低を。冒頭は音を切りすぎていて内容が取りづらかった。不自然に強く読んでいるところがあったのがもったいなかった。「作」が「サクツ」になっていました。語尾が上がっていました。</p> <p>課題文→→もう少し臨場感が欲しいです。「ぶら下がり」を立てなくても良いのでは？</p>	<p>「作」だけが独立しすぎ。「からである」の言い方が不自然。「なると」「中から」など、分節ごとにアクセントが残りがちで、自然な話し方になっていないと思います。</p> <p>友人は、そんなに流ちょうにダイナミックにしゃべる人なの？「先に立って歩き始めた」でひと塊だと思いません。</p> <p>ニュースやお知らせなども読んで、放送部アナウンサーとしての伝達力を磨いてください。「茶色の指…でも」という止め方に違和感があります。</p> <p>課題。じつと向き合って芝居をしているように聞こえました。そういう場面なの？</p>
3	港	岡田	355	<p>作品→→一連の情景描写をした方が良い。ナンバーコールをもっとしっかり。前半の女の話方に違和感がありました。女のセリフの表現、これでいいですか？もっとじっくり表現してほしい。セリフと地の文の「間」がもっと欲しい。話すように読もう。発声はできている。発音もクリアだが単調に聞こえるので、内容によって音の高さを変えると良いと思う。女の「～～ください」が単調。ハリ「はり上げて」を大きくする理由はない。ぶつ切り感がありました。「もう死んでいた」は丁寧に。</p> <p>課題文→→「ぶら下がり」を立てるのはおかしい。もう少し取材感が欲しい。</p>	<p>せりふの声は柔らかくていいですが、番号や地の文は、どこかに力が入ったような声に感じます。</p> <p>枕元での会話なんだけど、二人の距離がかなり遠く感じます。語尾伸び注意。文末が自然に下がれない箇所がありました。</p> <p>ニュースやお知らせなども読んで、自然な読み方を身に付けて。「乱したように」の後のプレスは要らないのでは？</p> <p>課題。「これで最後の」と言いながら音量が上がりました。「キャスターとして」の後の長いポーズが邪魔でした。</p>
4	天王寺	中村	350	<p>作品→→一文目の言葉が聞き取りにくい。文末で息が抜ける。発音の甘いところが気になった。一音一音丁寧に発音したらもっと変わると。音にムラがあるように聞こえ、内容が入りにくかった。音が流れて細かいところが聞こえづらい。句末が息だけ残って声になっていません。聞き取りやすい声ですが、う行が時々読めていません。キーワードが立っていません。抽出部分はこれでいいですか。</p> <p>課題文→→息抜けが目立って言葉が聞こえない。課題文の読み、よかったです。しみりしすぎです。監督と区分けをしてください。課題セリフの解釈それでいいですか？さりげないはずのセリフが、さりげなくないセリフの読みになっていました。</p>	<p>相手が黙って聞いているので、そんなに響く声で歌うように読まなくてもいいと思います。2分だけだと力んでしまうから、もっと長く読んで、自然な読み方ができるようになってください。</p> <p>「切なくなった」を、そこまでひそめて言う必要があるかどうか。このあたりから、音量も不安定になっていきました。文の後半がやたらとため息っぽく聞こえます。何しかできなかった？意味のまとまりが分かりにくいです。</p> <p>課題。そんなに強烈な声で呼びかけたのかな？長嶋さんはささやいたの？</p>
5	帝塚山	吉井	375	<p>作品→→マイク遠いか？「なんとなく日々」が早口で聞こえない。情景描写ができています。「間」などが少なく早いところもあります。タイトルしっかり。千六本に切る場面の前に「間」が欲しい。大根のシーンなど慌てて聞こえます。もっと短く抽出してじっくり。意味を考えて区切りましょう。落ち着いた表現になっていました。テンポとしては良いと思う。</p> <p>課題文→→監督が少し暗い。課題文はしっかり読めていた。内容を理解しようとしている。</p>	<p>タイトルコールの速度は、もっと落ち着いていたほうが良いのでは？</p> <p>「よく考えれば」のように、もっとコンパクトに処理したほうが良い言葉まで丁寧に言っていると思います。「息絶えるときに」の「き」は無声化。</p> <p>「言葉を残した」をつぶさないほうが良いと思います。</p> <p>「気配」が、やや不鮮明。「中でも」の後のポーズは要らないと思います。やや分量が多すぎたかな？</p> <p>課題。「まだ試合があるから」は、そこだけ違う人のようでした。やりとりの流れをイメージできてたかな？</p>

# 第65回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

## 朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点/500	審査員講評	安田先生講評
6	四天	清水	入選	<p>作品→→情景はわかる。丁寧に読めている。「間」が不自然に長い。情景描写もう少し丁寧に読んで欲しい。うねり残る。地の文とセリフを工夫しようとしている。やや感傷が過ぎた表現になっている。「会話は無い」をなぜそんなに落として落としましたか？聞き取りやすい声。「会話は無い」の文、下がりすぎないように。後半、下がり気味。メリハリができていた。地の文はもう少しスッキリした方がよい。課題文→→「ぶら下がり」が気になる。セリフの解釈それでいいですか。「えへへ」は照れ笑いですか？理解しようとしている。</p>	<p>「小川」ぐらいは鼻濁音にしましょう。悲し気な内容だからといって、そんなに落胆して読まなくていいと思います。 「なにかしらのプレゼント」まで残念そうに聞こえました。助詞の「を」は、「お」と発音します。「あれば」を立て直す必要は無いと思います。 そんなに必死に、高い声で懇願しましたか？ 課題。二人とも立ち止まって話をしているのかな？長嶋さんは怒ってるの？</p>
7	市立南	小寺	入選	<p>作品→→自分の言葉が自分の言葉か相手の言葉がわかりにくい。たてすぎ。聞き取りやすい。場面が思い浮かびました。カツサンドもつと立てましょ。落ち着いた読みで明るい雰囲気表現できています。句末の音がややだらしく伸びている。地の文のセリフのイントネーションを引きずっていきり上がる。「カツサンド」聞き取りにくい。発声ができている。後半全体がゆっくりだったので緩急をつけてほしい。「カツサンド」の「ツ」が消えがち。「うらやましかった」が伝わらない。高音域をうろうろして、うねる。 課題文→→雰囲気が出ていました。落ち着いた読み。「お気持ち」それほど立てなくても。</p>	<p>「だけでなく」が急に強い。若い友人は、芝居をしていないときにも、声優さんのように表情豊かにしゃべるの？ 「するとこのじよ」に聞こえます。「箱いっぱいのカツサンド」を演出する必要は無いのでは？世にも幸せそうに「あれほど…」を言えればいいのでは？ 「けれど…味わった」まででひと塊なの？「なあ」が耳障りでした。「心の底から」を「心のそこら」と分けなさい。 課題。「さみしくなります」も長嶋さんが言ったように聞こえました。</p>
8	四天	高橋	369	<p>作品→→作品名、聞き取れない。うねる。文末が聞こえない。イントネーション・アクセントのミス。切り方が不自然。「間」の取り方が一定なので工夫がほしい。うねり読み。セリフ、工夫している。「きつねうどん、真の方からあたたまってくる」等イントネーションの乱れあり。タイトル聞こえない。おじいさんのセリフ、良い。イントネーションの乱れあります。会話の雰囲気伝わります。はじめ、聞き取りにくかった。トーンのメリハリが少ない。 課題文→→監督のセリフの解釈、これでいいですか？サ行(とくに「す」)注意)。「ぶら下がり」を立てすぎです。</p>	<p>タイトルの「すっぽん」の「す」は無声化。「ゆず」のように、頭高アクセントが不鮮明な箇所があります。 「水槽」は、つぶさないほうがいいのでは？「じつと」だけ低くなった。 「え？」をせりふとして演出しなくていいと思います。そのあとの話の要約の部分、ちょっと低くなりすぎでは？ 「笑った」は、つぶれないほうがいいと思います。 課題。子音のsの発音を見直してください。二人は足を止めて話したの？</p>
9	市立南	乾	374	<p>作品→→間が少ない。一本調子。無声化、がんばりましょう。タ行がタ行に聞こえました。文末に、もう一工夫を。文末、息が続いていない。「あのころ」をそこまで立てる必要はないのでは？「自分に誇りを持って生きていた」のイントネーション。意味のかたまりの中でうねる。後半、言葉を立てようとしている。テンポ良い。1・2文目の発音が不明瞭。「あまい」が濁る。 課題文→→「ぶら下がり」を立てる必要はありますか？もっと緩急があってもいいのでは？よく読めている。もう少し、臨場感が欲しい。</p>	<p>呼びかけながら何をした？不鮮明でした。「とびだった」に聞こえます。「ほんとに生きてくれたのだ」でひと塊では？ 「ような」を立て直さないで。並列の情報がいくつも続いて読みにくい場面ですね。読みにくいということは聞きづらいということです。吹かれに注意。 苗字のアクセントが適切かどうか。「自分に誇りをもって」でひと塊だと思います。 課題。わりとうまく対応できたと思います。「そうですね」が、やや暗すぎるかな。</p>
10	仰星	重枝	入選	<p>作品→→「見つめている」の文末の上りが不自然。「スミレちゃんがい」が浮いている。発声よくできている。緩急をつけようとしているのは伝わるが、前後の関係を考えて、読み方を研究してください。うねり残る。場面を理解して読もうとしている。落ち着いた声。堂々とした表現。「すみれちゃんがいという事実だった」の区切りがおかしい。テンポや「間」の取り方、工夫している。マイク、近いのでは？大事な言葉を立てそびれています。感情を入れないうちも作り、メリハリを。 課題文→→セリフ、いいですね。地の文とセリフの差がいい。「ぶら下がり」立てない。「寂しくなります」に違和感がありました。</p>	<p>声はよく出ています。マイクの使い方も、うまくいっています。母音の発音が、やや横開きで甘くなっているのが惜しい。「すみれちゃんがいという事実」でひと塊です。 「永遠」は「えーえん」と発音します。 「いってらっしゃい」は、確かに叫び声だけど、実際に音量を上げると、遠くに向かって叫んでる感じがしなくなります。ほかの表現を探して。さすがに最後まで聞くと、自分に酔いしれているように聞こえてしまいました。普通の読み方も身に付けて。 課題。そんなに大声での会話ではないはず。長嶋さんと有働さんの距離は？</p>

# 第65回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

## 朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	審査員講評	安田先生講評
11	旭	阿部	364	<p>作品→→少し声がかもる。「間」はとれていた。無声化が△。地の文をもっとスッキリと。サ行注意。ふくろうの鳴き方にも少し工夫があってもよかったです。セリフ、自然な息で表現しよう。区切りすぎです。もっと長い息で意味を考えながら区切りましょう。単調です。情景が浮かびます。よく練習していることがわかります。切り方の不自然なところがあります。特に長い分では、修飾関係を捉えて読み方を工夫してみてください。「いと」の「イ」の音が消えた。聞こえない音がある。後半、息で読んでいる。</p> <p>課題文→→最初の3文に気持ちが入っていません。「そうですね」が疑問に聞こえます。「ユニフォーム」「すべて」「スポーツ」が不明瞭。</p>	<p>最初の会話が無表情でした。イメージが沸いていなかったかなあ。地の文の読み方が不安定です。「明日から歌を練習しましょう」の続きに「…できないのです」というせりふがあるはずですが、つながりが表現できなかったと思います。</p> <p>最低音まで下がるのは文末だけにしてください。フクロウの声をリアルに表現しないでいいと思います。</p> <p>課題。長嶋さんは考え込んでるの？ 考え込んだすえに、「まだ試合があるから」という結論を出したように聞こえます。</p>
12	市立南	中道	368	<p>作品→→マイク遠いのでは？各文のメリハリが少ない。セリフが早い。大事な言葉を立てるよう、読み方を工夫しましょう。後半、早い。文末まで音が出きっていないので、聞こえない。セリフや長居フレーズにうねりが見られます。場面の理解ができています。練習できている。発声は、もう少し声量があってもよいと思う。文末が聞き取りにくい。スミレちゃんのセリフ、聞き取れない。うねる。聞こえない音が多い。マイク、遠いように思いました。</p> <p>課題文→→最初の呼びかけの雰囲気よかった。セリフのやり取りがわからない。丁寧に読み解いている。</p>	<p>「小川」ぐらいは鼻濁音にしてくださいよ。「ハンスさん」を無声化したことで、ちょっと不安定になりました。「優しい」が低くて「しづか」が高いのはおかしいです。最低音まで下がるのは文末だけにしましょう。途中の助詞が下がりがすぎている箇所があります。</p> <p>「すみれちゃんが疲れてしまわないか」のように、ずり上がってしまっている箇所があります</p> <p>課題。「寂しく」のアクセントが違う。長嶋さんとはことん明るく答えたの？</p>
13	四天	深野	389	<p>作品→→「長い間」「ソース」「うらやましいなあ」の表現は、適切ですか？テンポ、切り方は良い。明るく聞き取りやすい声。テンポや「間」を工夫している。明るい場面をよく描けている。「～と言ったのだ」などの文末の高さにもう一工夫ほしい。「うらやましかった」の前の「間」が気になりました。声が遠いように思いました。ここぞというところと地の文のメリハリをつけましょう。</p> <p>課題文→→セリフの解釈、それでいいですか？マイク、遠いのでは？</p>	<p>母音の発音が子供っぽくなる箇所があります。ややマイクから遠すぎたかな？「とかのじよ」が急に高い。「た」で終わる文末が横開きにならないように注意。「嬉しかったのは」の後の「カツサンド」が、色っぽすぎると思えます。</p> <p>普通に読んでいる箇所が少ないので、放送部アナウンサーの朗読としては、ちょっと酔いしれているように聞こえます。</p> <p>「実に」は低くならないと思います。</p> <p>課題。有働さんはけなげな少女のように呼び掛けたの？</p>
14	箕面自	千秋	6位	<p>作品→→地の文が早口です。「間」をあけるところを作りましょう。場面的には、「粉屋」が急に出て来るのでわかりにくい。タイトル、勢いがよすぎて聞き取りにくい。もう少し表現に落ち着きがほしい。慌てているように聞こえます。いい声です。スピード・表現を工夫している。セリフは、もう少しテンポが早くても良い気がした。発声、よい。早い。「魔法を」「ぬぐっている」が不明瞭。最後の一文が暗い。</p> <p>課題文→→有働さんの会話文がわかりにくい。なぜ、最後の「まだ」を落としたのですか？</p>	<p>「水車」だけが強くなってしまいました。音量を安定させましょう。</p> <p>音域を広く使って立体的に語る心がけは、良いと思います。ちょっと滑舌の限界を超えた箇所もあったかな？</p> <p>粉屋のせりふ、あんまり発音明瞭じゃないほうがいいかなあ。「一粒二つ部」をじらさなくていいと思います。</p> <p>課題。「イニフォーム」になってしまいました。長嶋さんが、ちょっとかっこよくなりすぎたかな。これからの伸びを期待しています。</p>
15	大市立	殿川	3位	<p>作品→→文末が行に変わった。慌てている。マイクオフ気味？助詞が強い。マイク、遠いのでは？「声に出して」の文がわかりにくい。スミレちゃんのセリフの表現、この場面に合っていますか？やや慌てている印象。もう少し抽出を短くしてじっくり描いてもよいのでは？場面を理解して表現しようとしている。表現を工夫している。発声は出来ているが、文末消えかけます。</p> <p>課題文→→情景が伝わる。丁寧に読めている。全体的に早い。地の文、慌てている印象。</p>	<p>「小川」ぐらいは鼻濁音にしましょう。地の文の語尾伸び注意。二人の距離感が正しくつたわる表現になっていますか？</p> <p>重要ではない部分をコンパクトに畳み込む読み方は、うまくいっていると思います。歌手出身のすみれさんとはいえ、耳元で発した言葉には聞こえないのです。最後を、どのくらい衰れさせようか…。</p> <p>課題。長嶋さんのせりふは、研究の跡が見えました。</p>

# 第65回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

## 朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	審査員講評	安田先生講評
16	四天	杉原	390	<p>作品→→セリフの読み方に工夫がある。抽出箇所、長いのでは？セリフ、この場面に合っていますか？出だしの場面、わかりにくい。「～は」が「～あ」に聞こえます。もう少し、地の文をすっきりと。丁寧に読んでいる。「ワタンハ」の音が濁る。</p> <p>課題文→→セリフ、それでいいですか？ラストの一文、もう一工夫を。</p>	<p>「小川」ぐらいは鼻濁音にしましょう。抽出の始め方が、適切だったかどうか。「病室は」からでもよかったと思います。</p> <p>「リボン」は「リ」だけを高く。「開いて」でプレスが入ったのが邪魔でした。「それでもすみれちゃんに」ではないはず。</p> <p>私は、そんなに快活にうそをついたの？最後の文が下がりすぎて苦しかった。</p> <p>課題。「まだ…まだ」は、さりげないというより、ストップモーションのようでした。</p>
17	桃山	高間	376	<p>作品→→低く苦しそう。早口。マイク近い？助詞が伸びる。区切りがなく続きすぎ。「間」がない。メリハリが少ない。「わたし」の「し」の音。同じテンポになっています。マイクが近いのか、声が口元だけで留まってしまっています。やや速く、イメージが追いつかない。ところどころ、発音甘い。少し早い。大雑把な印象を与える。</p> <p>課題文→→「まだ～」の文、せつなさが表れています。セリフの解釈、それでいいですか？</p>	<p>ややマイクに近すぎるのでは？ ちょっと忙しいです。抽出量が多すぎたかな？「さいしえに」に聞こえます。「このかんに」では？最低音まで下がるのは文末だけにしてください。「大丈夫」は、そんなに低音で答えたの？「私はうれしかった」から、急に子供っぽくなりました。ひばりが何歳の頃の場面かな？課題。「さみしくなります」を誰が言ったのかわからない読み方でした。</p>
18	市立南	坂田	入選	<p>作品→→テンポが程よい感じ。発声よい。しゃくりが残る。立てることを工夫している。意味を考えた区切りを。読点で切る必要はありません。やや慌てている印象。抽出箇所をもっと短くしてじっくり表現してもいいのでは？「突然」の「ぜ」の音。途中が同じテンポになっています。ラストの一文、もうひと工夫を。文のつながりがあまり表現できていない。セリフの「間」が少ない。「もしかしたら～目印」の読みに意味の区切りとのズレがあります。</p> <p>課題文→→「ぶら下がり」を立てる必要はありません。「スポーツキャスター」に注意。</p>	<p>作者名と作品名でワンセットですが、タイトルコールの三つの情報が均一に独立してしまいました。</p> <p>「リボンが…感触が」まででひと塊です。あんまりぶつぶつ切ると、実際にリボンが加えてきたように聞こえてしまいます。</p> <p>「どこからか」の次の言葉が聞き取れません。頑張っって奮い立たせているように聞こえる表現は？最後の文は要らないかもね。</p> <p>課題。地の文のメリハリは良かったですが、「ぶら下がり」がつぶれてしまいました。</p>
19	帝塚山	稲田	入選	<p>作品→→「間」がとれている。読み終わりがわかりにくかった。丁寧に読んでいる。場面がわかりにくい。落ち着いた表現。やや単調な表現になっています。スピードを工夫して場面を伝えましょう。冒頭の読みが少し不自然。</p> <p>課題文→→息が抜ける。臨場感がありました。セリフ間の「間」をとらないと、やり取りがわかりません。速い。</p>	<p>「リボン」は「リ」だけを高く。ややマイクから遠かったかな？「穏やかな表情だった」の「表情」を立て直さないで。語尾伸び注意。</p> <p>夢を思い返すシーンは、そこまで低音じゃなくてもいいと思います。「すみれちゃん！」というせりふを、リアルに作らなくてもいいと思います。</p> <p>「美しい」だけ低いのはおかしいです。「すみれとひばりは…でしょう」は、他人に向けて言ったのではなく、ひばりに言ったんだよね？</p> <p>課題。ちょっと全体が低く窮屈になりすぎたと思います。</p>
20	今宮	柴田	367	<p>作品→→切り方が不自然。語尾伸び。無声化、できていません。イントネーションの乱れあり。句末の音が伸びてしまっています。マイク、やや近いのでは？人名、もっと丁寧に。「顔色」の母音が引っ付きました。抽出箇所の場面がわかりにくい。読点のところで語尾が伸びる。「クチビル」注意。うねりが気になる。アクセント、無声化、できていないところがあります。地の文をもっとスッキリと。</p> <p>課題文→→試合前のテンションから考えると、セリフの読みが違います。単調に聞こえます。吸う音が入ります。マイク、近いのでは？</p>	<p>顔がぶれたかな？音量が安定しませんでした。いや、そうじゃなくて、マイクに近すぎたかな。吹かれが起きています。</p> <p>どんな声で呼びかけた？とても遠くにいる人に？</p> <p>語尾伸び注意。</p> <p>低音に独特のゆとりがあるのは強みなので、客観的な伝え方も練習して、放送部アナウンサーとして成長してください。</p> <p>最後まで聞いてみましたが、ちょっと酔いしれた感じがぬぐえません。</p> <p>課題。「そうですねえさみしくなります」と言っているように聞こえます。</p>

# 第65回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

## 朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点/500	審査員講評	安田先生講評
21	帝塚山	西山	381	<p>作品→→感情を入れすぎ。文末が強いところがある。文全体に力が入っている。立てるところと、大切なところがずれている。ラスト一文、不自然。「どうしても」の文が聞き取りにくい。助詞だけが立つ時がありました。「会話がない」が下がりすぎでは？落ち着いた声。セリフとして読むか地の文として読むかを迷わずに読みましょう。「会話は無い」の文、なぜ、そんなに低い？意味の係りで音の高低をつけましょう。スピードコントロール、工夫しています。冒頭、不自然に上がっていたのが気になった。緩急をつけようとしているのは伝わるが、強く読む単語が少しズレているように感じた。</p> <p>課題文→→声にブレがあります。女子アナの「ぶら下がり」らしく読めていました。「そうですね」の文、それでいいですか？</p>	<p>「にじゅいちばん」に聞こえます。「ひばりがかえってきたよ」は、そこまで高くしなくてもいいと思います。「なにかしらのプレゼント」は、もっと積極的に言ってもいいのでは。</p> <p>「あるときは」など、語尾伸び注意。あまり重要ではない部分を、適度に軽くするのが苦手そうですね。「プレゼントを…なった」をゆっくり言うのが適切だったかどうか。</p> <p>課題。長嶋さんはさりげなく答えたはずなのに、かなり毅然として答えたように聞こえます。</p>
22	箕面自	中村	5位	<p>作品→→発声、OK。「間」が単調。ややマイクが遠いのでは？男のセリフ、それでいいですか？抽出箇所、長すぎるのでは？もっと短くして、じっくり描いた方がいいのでは？場面と声が合っています。セリフ、浮いています。文末が消える。少し聞き取りにくいですが、セリフはよかったです。「間」が少ない。アクセント△。</p> <p>課題文→→セリフの解釈、それでいいですか？最後の2文、もうひと工夫を。「オキモチ」「ブラサガリ」が聞こえない。ブツ切りの印象。</p>	<p>ややマイクから遠かったかな。「自分は透き通るほど」ですか？意味の切れ目に当店がなくても適切なポーズや立て直しをしましょう。</p> <p>「そら」で泊まると、何かを確認させようとしているように聞こえますが、そうなのかな？</p> <p>女からのリクエストが、ちょっと忙しくて、しかも大事な言葉が低温に埋もれてしまうので、十分に届かないと思います。</p> <p>最後の終わり方が、ちょっと決まらなかったかな？</p> <p>課題。有働さんと長嶋さんのテンションに、そこまでの差があるかな？</p>
23	市立南	河内	390	<p>作品→→前半、一本調子。「間」をどう。全体、速い。量が多いのでは？聞き取りやすい声だが、全体、速い。。速いので、冒頭から追いつけない。抽出をもう少し短くして、場面をじっくり描いた方がよい。落ち着いた聞きやすい声なので、速さがもったいない。後半の長い文、うねる。発音はクリアでよい。</p> <p>課題文→→最後の2文の読み方に工夫がほしい。セリフの解釈、それでいいですか？</p>	<p>「23番」だけ大声でした。「本物の」だけ低いのは違和感があります。</p> <p>「もしかすると」の普通の言い方は、「も」だけを高くする言い方です。「両手で支えて」のあたり、滑舌の限界を超えました。</p> <p>「ではない」の後から、低音からずり上がる読み方が耳に着いてしまいました。ちょっと抽出の分量が多すぎたかな。</p> <p>課題。「さみしく」のアクセントが違います。地の文は、それなりにうまくいったと思います。</p>
24	堺西	上西	381	<p>作品→→内容的には明るい内容ではありませんが、もう少し声を出してもよいのでは？速い。単調に聞こえる。マイク、やや遠い？やや速いので、抽出箇所を短くして、もっとじっくり描こう。声の前に出していない。マイクが遠いように感じました。全体的に速いです。ささやきや、吐息で読むのはもったいない。速くてメリハリが少ない。</p> <p>課題文→→「そうですね」「まだ」の文、それでいいですか？「えへへ」に違和感がありました。「ぶら下がり」はもう少しサラッと。イントネーションはできていた。</p>	<p>「24番」は「に よ」を高く。ほかに、頭高アクセントが不鮮明な箇所があります。</p> <p>「もしかすると」の前に、もっとポーズがあってもいいのでは？「ぼかんと」を演出すると滑稽に聞こえてしまいます。</p> <p>「たちあげれせる」に聞こえます。アナウンサーとして朗読をしているのだから、ある程度は、発音や滑舌にもこだわってください。</p> <p>かみしめるべき言葉をかみしめられなかった。</p> <p>課題。そんなに静かで落ち着き払った場面かなあ。「そうですね」に違和感があります。</p>
25	四天	石井	381	<p>作品→→感情を同じところに入れすぎている。メリハリを。「喜ばしいような」だけが浮いた。「～だったのだろうか」が言えていませんでした。ラストの一文、もうひと工夫を。「くいいるように」の文、そう聞こえない。やや単調な読み。トーンの変化が不自然。スピードをコントロールしている。セリフ、工夫している。発音の聞き取りにくい箇所あり。</p> <p>課題文→→「間」がとれていた。監督が女性にしか聞こえなかった。「寂しくなります」が、誰の言葉なのかかわかりにくい。セリフの解釈、それでいいですか？</p>	<p>ややマイクから遠いかな？ いや、そうでもないか、吹かれに注意。</p> <p>最低音まで下がるのは文末だけにしてください。「こんな…」は、せりふのように演出しないほうがいいと思います。「知らぬ」は平板。</p> <p>「外の世界…」から、しばらく低音が続いて窮屈そうでした。中学生の頃を思い返しながら、大人の川上さんが勝手に思ってるだけのシーンなので、そこまでしみじみ表現するのは違和感があります。</p> <p>課題。長嶋さんは、そんなに大げさなレスポンスをしたかな？ 有働さんはそんなにさみしそうに話しかけたかな？</p>

# 第65回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

## 朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点/500	審査員講評	安田先生講評
26	相愛	瀬畑	376	<p>作品→→声を作らず、「間」やテンポなどで伝える工夫をしてほしい。地の文にうねりが残る。無理に低い声を出す必要はありません(苦しそうです)。うねり、あります。場面の緊張感、スピード変化させて。最初から低音で読むと苦しく聞こえます。抽出箇所は面白い場面を選んでいきます。低すぎるのが苦しく聞こえました。うねりが強いです。音ははっきりしているので、もう少し高く。</p> <p>課題文→→セリフはそれでいいですか？アナウンサーらしいインタビューになっていました。「スポーツ」の「ス」が聞こえにくいです。「間」がとれていた。</p>	<p>そんなに低音を無理して出さなくていいと思います。いかにも怖がらせようとしているように聞こえます。「そうしてめくら」ではないはず。</p> <p>吹かれに注意。「杉の木と見えた」の「き」は無声化。「なるほど」は感動詞ではないと思います。</p> <p>放送部のアナウンサーとしての伝達力を高めてください。普通の声で伝えることも覚えて。</p> <p>課題。有働さんのせりふ、偶然にも有働さんそっくりの音質でした。ただ、ここまで落胆した感じのやりとりだったかは疑問です。</p>
27	四天	水野	363	<p>作品→→「間」が一定になっていました。無声化、△。文末、聞こえにくい箇所あり。読点の助詞が伸びる。「～ような～ような」の文、係り受けがわかりにくい。口先で発音しています。単調な表現になっています。もっとじっくり場面を作りましょう。速くて情景が浮かびにくい。単調。ところどころ、切り方が意味とズレていました。</p> <p>課題文→→「間」が少ない。「まだ」の解釈、ラスト一文の解釈はそれでいいですか？「そうですね」に違和感あり。「そうですね」「まだ」の読みはそれでいいですか？</p>	<p>「おがわいと」がドレミソミのようにずり上がってしまいました。途中の助詞で音が下がりがすぎしてしまう箇所があります。</p> <p>「とても」だけ低いのはおかしいです。</p> <p>「目を細めて」の「目を」だけ低いのはおかしいです。</p> <p>ニュースやお知らせも読んで、放送部アナウンサーとしての伝達力を磨いてください。「わたしが呼び掛けると」という地の文の中の「すみれちゃん」ですから、そこまで大げさに演出しなくていいと思います。</p> <p>課題。「最後二ウニフォーム」のように聞こえます。自然なイントネーションを身に付けて。</p>
28	金光	中村	366	<p>作品→→サ行の滑舌△。単調に聞こえる。単調なので、場面が伝わってきません。区切りは、自然な呼吸で。抽出箇所、どんな場面かわかりにくい。「夏目漱石」が疑問文。文末が上がります。</p> <p>「間」が一定になっていました。無声化、△。</p> <p>課題文→→セリフに工夫を。アナウンサーらしさが足りません。自分の作品との切り替えをしっかりと。「間」が少ない。</p>	<p>「行燈」が「あんどう」に聞こえました。「どうしてもあねーかん」に聞こえます。</p> <p>一つの文を一息で読んでみるのは悪くありませんが、必要な箇所にはポーズやブレスを使いましょう。自然なイントネーションが崩れすぎだと思います。</p> <p>課題。「さりげない言葉だが」を演出する必要は無いと思います。</p>
29	市立南	大庭	2位	<p>作品→→少し声が遠かったが、メリハリがついていた。長い文を丁寧に読んでいた。「有刺鉄線」のイントネーション注意。聞き取りやすい読み。抽出箇所としては、わかりやすい場面ではありませんが、情景が浮かぶ読みができました。落ち着いた読み。前半部分にも、もう少しじっくり描く場面が必要かも。スミちゃんのセリフ、雰囲気が出ている。音の幅、とれている。場面が浮かぶ。スピードコントロール、できている。セリフ、少し、ゆっくり過ぎる印象。</p> <p>課題文→→臨場感がありました。監督のセリフ、それでいいですか？</p>	<p>母音の発音がまだ不安定です。「なんとなく」で止まらないのなら、「く」も無声化です。「長い旅を」のあたり、ちょっと窮屈です。</p> <p>「ほしい」をつぶさないほうがいいのでは？「有刺鉄線が…だったけど」の部分、ほのかさんが伸び伸びと表現できる声にしたほうがいいと思います。</p> <p>課題。「寂しく」の「び」を高くできませんでした。</p>
30	箕面自	亀田	4位	<p>作品→→聞きやすいテンポ。もっと「間」をとるなど、工夫すればよい。意味を理解して表現しようとしていた。もっとじっくり読んで、場面を作ろう。「間」の取り方に工夫が必要です。女のセリフ、それでいいですか？文頭はもう少し高から。タイトル、丁寧に読んでいました。ラスト一文の「間」が気になります。しっかり声が出ていました。よく読んでいるが、もう少し「間」がほしい。</p> <p>課題文→→「そうですね」「まだ」の読み、それでいいですか？長嶋監督の雰囲気、出ていました。</p>	<p>「これでも死ぬのか」は、もっと音域を広く使ったほうが、好印象だと思います。演出ではなく本人の能力不足で高低差が少ないのだと思われるから。「ゆった」ではなく「いった」です。「そうして天から」ではないはず。「自分はいつ」ではないはず。</p> <p>課題。2回「まだ」をあんまりじらすと、芝居みたいになってしまうと思います。</p>

# 第65回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

## 朗読部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	審査員講評	安田先生講評
31	アサ国	紙谷	363	<p>作品→→話すように読みましょう。「間」の工夫をしましょう。意味のかかり方で音の高低をつけましょう。マイク、まっすぐ当たっていますか？うねりがあります。「つぶらな瞳～」の場面の区切り方、違うのでは？マイク、遠いのでは？ラストの文の読み方に工夫を。うねっています。どこが山場なのかわかりませんでした。丁寧に読めていたので、単調なのが惜しい。声がかもっている。長い文では、一つの文のイントネーションとして読み下せていないところがある。</p> <p>課題文→→「そうですね」「まだ」の文、それでいいですか？「寂しくなります」が誰の言葉なのかわかりませんでした。もっと丁寧に。</p>	<p>1文目と2文目、客観的に説明しているように聞こえます、そうなのかな？「1滴」の後のプレスが邪魔でした。</p> <p>「確かに要る」の「いる」はつぶさないほうがいいのでは？「えーえん」と発音してください。頑張っって自分に言い聞かせているはずの言葉が、そう聞こえない読み方になっています。</p> <p>課題。有働さんはそんなにはきはきと読み上げるように話しかけたかな？</p>
32	桃山	上田	1位	<p>作品→→音声表現として自然でないところがある。「間」がとれている。しかり発声できている。「ことごとく」のアクセント。うねる。語頭が強い。作品と声が合っています。力のある声。やや速くて、音がつぶれているところあり。小僧のセリフ、良い。最後の切れ方、それでいいですか？セリフ、地の文、工夫している。イントネーション、良い。終わりの文がわかりにくい。</p> <p>課題文→→落ち着いている。「寂しくなります」が誰の言葉なのかわかりません。</p>	<p>「むちーであ」に聞こえます。</p> <p>「めいくら」に聞こえます。小僧のせりふ、はっきり聞こえたとはいえ、もうちょっとマイクから遠いほうがいいのでは？それか、声の威力を絞るか。「た」で終わる文末の横開きに注意。</p> <p>課題。吹かれに注意。「さみしくなります」が、歩きながら交わした言葉としては暗すぎると思います。</p>
33	四天	瀬戸	386	<p>作品→→セリフと地の文の区別がきれいにできていた。イントネーション、△。語尾伸び気味のところあり。セリフ、もっと自然な呼吸で。文末の音が気になります。文末の音の高さに工夫を。情景がよく見えた。後半、苦しそう。</p> <p>課題文→→落ち着いています。</p>	<p>「早く」は頭高アクセントです。上品な家政婦さんが言い訳しているように聞こえます。「ほっとした」の「つつつ」に違和感があります。</p> <p>「ひたすらーやまった」に聞こえます。ひばりは、そんなにかわいらしい声なの？語尾伸び注意。「あふれた」で息を吐きだしてしまいました。</p> <p>課題への切り替えのための間が足りません。長嶋さんは鼻濁音で話す人だよ？</p>
34	アサ国	武田	383	<p>作品→→のびのびと読んでいる。ラストの一文がおさまらない。「スミレちゃん」の「ス」など、サ行注意。音が流れてしまい、はっきりしない音になっています。意味を考えて全体のイントネーションを作り上げましょう。表現、工夫できている。スピード、工夫している。発音は概ねOK。「寂しくなります」が少しかんでいた。</p> <p>課題文→→後半の2行、わかりやすかった。監督とインタビューのセリフの差がほしい。</p>	<p>母音の発音が子供っぽくならないように注意。主語の後にポーズが必要なのに読み続けてしまった箇所があったと思います。</p> <p>「とんでもない」は、慌てていたからといって、そんなに大声ではなかったと思います。語尾伸び注意。</p> <p>「そんな…ところへ」までワンフレーズになっていますが、そうなのかな？「えーえん」と発音します。この場面のすみれは、そこまで老いぼれていなかったのでは？</p> <p>課題。改まって質問しているように聞こえますが、そうなのかな？「そして」を頑張りすぎたと思います。</p>